

湯河原ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



ロータリー： 変化をもたらす

第 2710回 例会
平成30年3月2日(金)
天候 晴れ
合唱 君が代
それこそロータリー

会長 石倉 幸久

幹事 渡辺 久恭

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上566湯河原温泉観光協会内

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場 静岡県熱海市泉107 ニューウェルシティ湯河原

TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

埼玉県川越市は、蔵造りの街並みが保存され、今なお「小江戸」の情緒を味わえるということで近年人気の観光地となりました。しかし、同じ川越の市街地の中でも「中央通り」周辺のエリアは人通りが少なく、シャッター通り化してしまっております。この中央通りは昭和8年開通で、昭和年代の街並みは残っているのですが、蔵造りの街並みと比べると観光資源としての価値が見出し辛く、それゆえ中々補助金も取れず、停滞が続いておりました。そこで、中央通りのまちづくりを進める「昭和の街の会」では、お金をかけずに街をブランディングするため、川越市のどのエリアよりも多くイベントを開催しているそうです。例えば、昨年の「昭和の日」には、「コッペパンデー」というイベントを企画し、街中で昭和のコスプレをして、訪れたお客さんにコッペパンを無料で配布し、商店街で購入した食材を挟んで食べてもらったそうです。このように「お金がなければ知恵でカバー」とばかりに様々なアイデアを出し合ってまちづくりを進めておられる姿勢は素晴らしいと思います。

「ないもの」を嘆いて立ち止まるよりも、まずは出来ることから始めてみるという「昭和の街の会」の方々のスタンスに、我々も学ぶところが多いのではないのでしょうか。

幹事報告

例会に先立ち開催された理事会の報告をします。

1. 台湾東部地震への義捐金の協力依頼について
スマイルボックス会計より12,000円(1人当たり500円)を拠出します。
2. 4月8日(日)に開催される地区研修・協議会について
登録者及びスケジュールは出席義務者に配布してあります。9時に商工会館前より送迎バスが出発します。(バス代3,000円・弁当付き)
3. 4月27日(金)に夜間例会を開催します。
16時30分~17時30分
湯河原美術館において平松礼二画伯の説明を聞きながらアトリエの見学会
エキシブ湯河原離宮へ移動し、17時45分~18時に例会を開催し、18時より食事会をします。会費は、会員10,000円・同伴者5,000円です。
ガバナー事務所に連絡します。
4. その他
4月6日・13日・20日の例会場は「ゆがわら万葉荘」になります。

連絡事項 無し

スマイルBOX

会員誕生日 伊場野雅代君(3/3)
会員誕生日 杉山茂久君(3/6)
伊藤伸之君 昨日の朝日新聞夕刊「訪ねる」の記事で伊藤屋が出ました。

事前メイクアップ 0名

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	会員24名
	欠席5(免除者1名)		前回の修正出席率95.83%
	出席率82.61%		前々回の修正出席率95.65%

櫻井武志君

皆さん改めまして、今年度入会させて頂きました、櫻井武志と申します。宜しくお願い致します。初めての卓話でどのようなお話をさせて頂ければよろしいでしょうか？と高杉副会長にご相談させていただきました所、初めてなので、やまげんの、紹介をしたらいいのでは。というアドバイスをいただきましたので、本日はうちの事業所、また業務内容を簡単ではございますが、ご紹介させて頂きたいと思っております。元々、湯河原町門川で私の曾祖父がみかんの栽培と駄菓子屋と言いますか、食料品店と言いますか、今の時代で言えばコンビニといえますか、菓子やお酒、味噌、砂糖、塩などを販売しているお店、商店を行っていたそうです。現在の事業所の名称でもあります「やまげん」の由来は、曾祖父の名前が櫻井源太郎という名前、屋号の由来はその名前からきてというふうに父親から聞いております。実家、事業所は門川にあります。門川と申しましても湯河原門川地区に農園があるわけではございません。正確な住所、地名は熱海市泉元門川分。熱海に向かう国道沿いの右手、南向きの海に面した段々畑になります。現在、温州蜜柑はもちろん、神奈川県西部にしかない新品種、湘南ゴールド、またブルーベリー、ニューサマーオレンジ、デコボン、キウイフルーツ、清見オレンジ、あまなつ、せとか、シークワサーなど多品種を栽培させて頂いております。耕作面積はみかんが約90aブルーベリーが10 aその他晩柑類が合わせて50 a(1a=100㎡)、うちで栽培しております早生みかん、青島みかんの8割はみかんの木のオーナー事業として木のまま販売をしております。毎年11月の下旬から12月の下旬にかけて一般のお客様が、家族や友人、また会社仲間など、ご自身でみかんを収穫しに多くのお客様に来園して頂いております。今湯河原で栽培されているみかんの品種の多くは青島みかんという品種です。この品種は晩生型の温州みかんの品種の一つです。1978年静岡市内で青島平十（へいじゅう）氏に枝変わりとして発見され静岡県、長崎県、香川県などで古くから栽培されてきました。特に静岡県の三ヶ日地域が有名で、三ヶ日みかんといえば品種は青島みかんの事を言います。高糖度みかんの代表で、静岡県では主力品種として多く栽培。最近三重県でもこの品種に転換が進められていると言われております。長期貯蔵に優れているので、12月に収穫し3月上旬ごろに出荷するなど、タイミングを調整しやすく栽培しやすい品種といわれております。皆様ご承知の通り、みかんは米や野菜と違い一年に一度しか収穫はありません。しかも木に成った物全てが、A品ではなく、みかんの木には小さすぎる物から大きすぎる物、変形したもの、夏場の台風で傷ついてしまった物など、市場に出荷できない物、いわゆるB級品も当然出来てしまいます。10年前の就農当時、私はそのB級品の比率の多さに驚いたのを今でも鮮明に記憶しております。その事がきっかけとなり栽培した柑橘を使った農産物の加工製品製造を、本格的に始めました。



卓話 櫻井武志会員

自社で収穫した原料は勿論の事、地元湯河原で収穫された様々な柑橘類を中心に近隣地域も含め多品種にわたり柑橘の加工を行っております。現在、自社製品としましてはジャムを8種類、ジュースを3種類、他ゼリー3種類を製造販売しております。主要販売先といたしましてはスーパー、デパート、旅館さん、ホテルさんなどとなっております。またOEM商品の製造委託を行っております。この地域にはない梨やぶどうなども搾汁しジュースやジャムを製造しております。主要取引先といたしましては菓子メーカー、食品メーカーさんなどとなっております。今、農業の分野ではうちの様な事業の取り組み方を「6次産業化」といいます。6次産業という言葉は、農家が農業本来の物を栽培、生産する第一次産業だけではなく、二次産業である生産物の加工、三次産業である、小売業を行い、総合的かつ一体的な事業推進を図ってそのブランド価値を向上させ売上、利益率を上げる取り組みの事を言います。ちょうど今、うちではこの時期はみかん搾汁作業を行っております。通常、大手メーカー、工場ですと、まずみかんを洗浄しそのあとの機械で潰して果汁を取り出す方法なのですが、うちのみかんジュースはみかんの皮を全て一つ一つ手作業で皮を剥いて搾汁作業をするという事が大きな特徴です。そうする事により皮のエグ味や酸味が入らずみかん本来の味に限りなく近い物となります。月水金にみかんの皮剥き作業をし、火木土に搾汁。すなわち一日かけて1t半～2tの皮を剥いたみかんを翌日搾汁し、瓶や業務用のポリ容器に充填を行います。今この時期にしかない、湯河原みかんがなくなる今月下旬まで日々行っております。時期的にはまだ、柑橘の終わる6月までは繁忙期となりますが、先週の卓話で伊藤会員からお話がありました通り、ロータリーの基本である出席につきまして。欠席した時の補填としてのメーキャップを活用させて頂き、出席補填だけでなく、仕事で町外に出た時などは、積極的に他クラブにてメーキャップし、そこで小さな1つの出会でもあれば、それこそがまさにロータリー入会させて頂いた、意義であると思っておりました。まだまだ分からない事だらけではございますが、今後とも宜しくお願い申し上げます。私の卓話とさせて頂きます。ご清聴ありがとうございます。